

# わかむぎ

No. 9 令和6年12月20日 <発行者：校長 池田 尚>

## 充実した部活動を目指して

12月中旬を過ぎると、朝はめっきり寒くなってきました。校門を通過して入ってくると、グラウンドから大きな声が聞こえてきます。『校長先生、おはようございます〜!』と陸上部の生徒が遠くから爽やかにあいさつをしてくれます。玄関前の藤棚から広いグラウンドを見渡すと、野球部、サッカー部、ソフトボール部が活動しています。どの部からも活気のある声が聞こえてきて、その声が、生き生きとしているのです。そして、明るい声はグラウンドからだけでなく、テニスコート、体育館からも・・・また、校舎からは吹奏楽部の音が響いてきます。

部活動の「地域移行」から「地域展開」へ名称が変更されましたが、明確な先が見えない部分もあります。それでも、生徒のみなさんの生き生きとした活動の場、経験の場を守っていききたいです。

押原中では、総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」の力を借りて、町教育委員会とともに部活動の地域展開に向けて先進的に取り組んでいます。現在、文化部を含めた13の部に外部指導者が入り、地域の多くの人々に支援していただきながら新たな部活動指導のかたちを模索しているところです。

とは言っても、「まずは今ある各部の活動を最高のものにしながら、地域展開していくことが大切である」を合い言葉に頑張っていきます。

つねに元気で明るい声が響いている部活動は、押原中学校の大きな特色です。

### <部活動フアインショット>



<いつも元気なサッカー部>



<ロボコン関東大会に出場した自然科学部、もう少しで全国出場でした。大健闘!!>



←男子バレー部は常に県上位で戦っています



チームワーク→抜群の女子卓球部



<ガッチリ守る! 深澤結月さん>



<県駅伝で疾走する渡辺瞬さんと有井七海さん>



<1年生キーパーの末木貴太さん>



<心温まる美術部の応援作品>

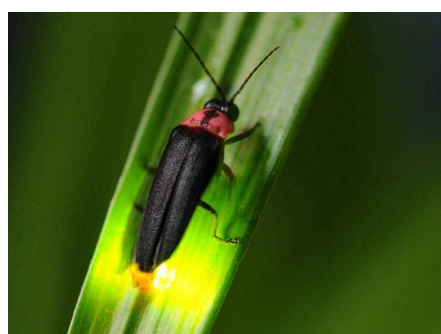
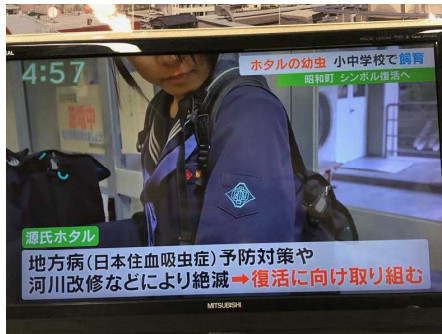


# 「町にホタルを飛ばしたい！」～自然科学部が挑戦します～

12月13日（金）に町から源氏ボタルの幼虫を寄贈していただきました。塩澤町長さんらから自然科学部の廣瀬紘さんと橘田凜さんが源氏ボタルの幼虫とその餌となるカワニナを受け取りました。部長の小林優奈さんがインタビューに答え、この様子は12月16日のTV（UTYのスゴロク）でも放映されました。源氏ボタルは飼育が難しく成虫まで飼育が成功する確率は1/100程度だそうです。今回、100匹ほどの幼虫を寄贈していただいたので、数匹でも成虫にすることができれば大成功であるという難しいミッションになります。



＜取材に答える小林優奈さん＞



↑＜塩澤町長さんらから幼虫を受け取る橘田凜さんと、廣瀬紘さん＞

＜源氏ボタル＞

# 「生き方教育講演会」～コミュニティ・スクール学習支援ボランティア授業～

12月12日に1年生は「職業人から学ぶ生き方の授業」をおこない、地域で活躍する4名の方を講師としてお迎えし、お話をいただきました。＜※講師のみなさんは以下の通りです＞

塩澤政博さん	全国技能士会連合会マイスター，塩澤豊店経営
山田耕三さん	グラフィックデザイナー
長澤 齊さん	障害者支援施設ルヴァン副施設長
マイク・erina さん	シンガーソングライター，スポーツインストラクター



どの講師の方のお話もたいへん興味深く、熱く語ってくれたので生徒のみなさんも熱心に話に聞き入っていました。10年後の自分について考える良い機会になりました。

# PTA球技会・研修会 ～たいへん盛り上がりました！～

11月16日におこなわれたPTA球技大会・研修会には多くの参加を頂きありがとうございました。球技大会ではグラウンドゴルフ、研修会では、健康増進クッキングと健康エクササイズをおこないました。

グラウンドゴルフではホールインワンなども飛び出し、たいへん盛り上がりました。

